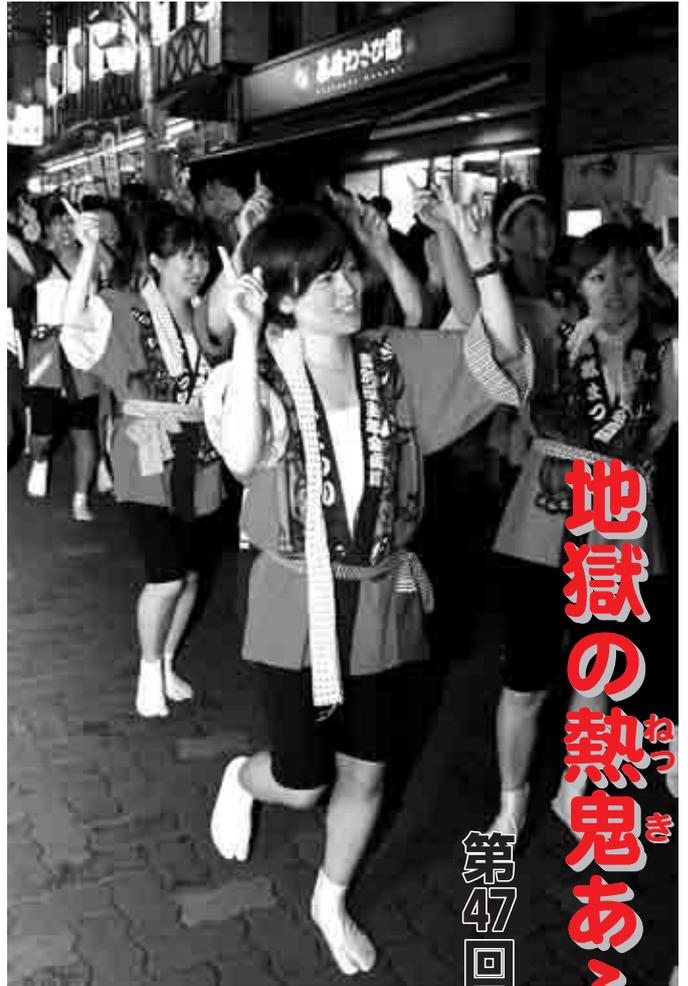




とうほんせいそう  
**東奔西走**



**地獄の熱鬼あふれる**

第47回登別地獄まつり

8/28  
・29

8月28日(土)・29日(日)の2日間、登別温泉街を会場に、第47回登別地獄まつり(市、登別観光協会主催)が行われ、約5万2千人の市民や観光客でにぎわいました。

赤いちょうちんに照らされたメインストリートの『極楽通り』では、『鬼みこし暴れねりこみ』が行われ、重さ約1トの『赤鬼みこし』などがまちを練り歩き、その迫力で、沿道を埋め尽くした観衆を祭りの興奮に引き込んだほか、『鬼踊り大群舞』では、温泉の湯気や鬼の角など、登別温泉の象徴的なものを表した覚えやすい振り付けに、最初は沿道で眺めていた観光客も『地獄ばやし』と太鼓に合わせ、一緒になって楽しく踊っていました。

また、閻魔大王が鬼の形相となり地獄の審判を下す、大迫力の『閻魔大王からくり山車』が運行されるなど、温泉街はこの2日間、地獄の熱気であふれていました。



▲市長へまちづくりの思いを伝える参加者(右)

**まちづくりの思いを市長へ**

市長室フリータイム

8月26日(木)、市役所と市民活動センターで『市長室フリータイム』が行われ、事前に申し込みをした個人・団体と市長がまちづくりについて意見を交換しました。

『市長室フリータイム』は、市の施策や事業、まちづくりなどをテーマに市長と直接、自由に意見を交換してもらおうと、年2回行われています。

この日参加した3組の方がたは、登別温泉の活用策や子育て支援、花壇に植えている花の手入れなどについて、市長と活発に意見交換していました。

8/26